

新型コロナウイルス感染症への対応状況について

1 新型コロナウイルス感染症に係る発生状況等について

別添資料No. 5 - 1 のとおり

2 岩手県における新型コロナウイルス感染症への対応について

別添資料No. 5 - 2 のとおり

3 県立病院における新型コロナウイルス感染症への対応について**(1) 帰国者・接触者外来の設置**

- 令和2年2月8日より対応開始
- 感染症指定医療機関を中心に対応
- これまでに本県で行われた検査のうち、約3割が県立病院で検体採取

(2) 医療提供体制の整備

- 病床の確保
- 機器整備
 - ・ 入院機能の強化のため、簡易陰圧装置、人工呼吸器、エクモ等を整備
 - ・ 外来機能の強化のため、医療用テント、ポータブル一般撮影装置、HEPAフィルター付空気清浄機等を整備
- 医療材料等の確保
 - ・ SPD業者の調達ノウハウも用いながら、医療材料を確保
 - ・ 確保が難しい医療材料が生じた場合、保健福祉部を通じ国から給付を受けることができる体制を構築
 - ・ 現時点では、当面の間、診療を継続できるだけの量をほぼ確保できているが、今後も関係機関と連携しながら、診療に支障を来さないよう対応

(3) 院内感染防止対策等の取組

- 院内検査体制の強化
(術前検査等のため、PCR検査同等精度の検査体制を基幹病院等で整備)
- 出入口へのサーマルカメラ設置による来院者の検温
- 慢性疾患患者等の電話診療

(4) 感染症診療業務従事者への支援

- 医療従事者の宿泊施設の確保
- 特殊勤務手当の拡充
- 新型コロナウイルス感染症対応慰労金の給付

(5) 県立病院の経営への影響

① 収支状況

- 医業収益（7月末累計） 1,583百万円減収（前年比5.4%減）
- 患者数

	単 月				累 計			
	R2年7月	R元年7月	前年度比較		R2年7月末	R元年7月末	前年度比較	
			人数	率			人数	率
入院患者数	92,360	98,549	△6,189	△6.3	353,900	391,875	△37,975	△9.7
外来患者数	147,523	162,484	△14,961	△9.2	555,528	616,665	△61,137	△9.9

〔参考〕R元年度における患者減少数(対前年度比) 入院 △14,611人 外来 △39,769人

【要因】

- ・入院体制等確保のため、延期可能な手術・検査の延期
- ・かかりつけ医からの紹介患者の減少
- ・自主的な受診抑制

② 令和2年度収支見通し

(単位：百万円)

区 分		当初予算額	補正後現計予算額 (令和2年9月臨時会可決)	増 減
収益的収支	収 益	114,092	111,706	△2,385
	費 用	112,568	114,223	1,654
	差引損益	1,524	△2,516	(※) △4,040
	経常損益	1,524	△2,516	(※) △4,040
資本的収支	収 入	14,741	15,575	835
	支 出	22,138	22,973	835
	差 引 (内部留保資金充当)	7,398	7,398	0

※ 新型コロナウイルス感染症の影響による減収に伴う資金確保のため、特別減収対策企業債4,000百万円を発行（後年度負担あり）

【増減の主な内容】

- 収益的収支
 - ・新型コロナウイルス感染症の影響による入院収益・外来収益の減 △7,925百万円
 - ・空床補償による医業外収益の増 4,062百万円
 - ・新型コロナウイルス感染症対応慰労金給付に伴う特別利益の増 1,557百万円
 - ・新型コロナウイルス感染症対応慰労金給付に伴う特別損失の増 1,557百万円
- 資本的収支
 - ・新型コロナウイルス感染症患者の医療提供体制整備に要する医療器械費の増 576百万円
 - ・新たな日常に対応するためのソフトウェア、備品の購入費等の増 258百万円

③ 今後の対応

- 適切な医療の提供
 - ・ 検査体制強化、診療資材確保による手術・検査の継続
 - ・ 紹介患者の受入再開を地域の医療機関に周知
 - ・ 重症化させないための適切な受診を住民に広報
 - ・ これまでの予約状況から未受診となっている患者への受診の働きかけ
- 新たな日常に対応するための環境整備
 - ・ オンライン面会を可能とするための患者用 Wi-Fi 環境の整備
 - ・ web 会議システムを利用したオンライン診療の整備
 - ・ 医療費自動精算機のクレジットカード払い対応 等